

# 令和3年度『がんプロ合同シンポジウム』開催報告

開催日：令和3年7月10日（土）14:00～16:45

場所：オンライン会議形態（Zoom利用）

プログラム：第Ⅰ部 特別講演

第Ⅱ部 パネルディスカッション

※新型コロナウイルス感染症拡大の懸念からオンライン開催

主催・がんプロ「高度医療を先導するがん医療人養成」

令和3年度

## がんプロ合同シンポジウム

テーマ「患者・市民とがんプロの交流」

参加費  
無料

開催日時・令和3年7月10日 14:00～16:30（所要時間150分）

開催方式・オンライン開催（Zoom利用によるWeb配信）

申込方法・下記googleフォームよりお申込みください。事務局よりZoom接続IDをお送りします。

<https://forms.gle/kaEGDtkkSRt9N4A>

申込締切・7月8日（木）15:00

総合司会 京都大学・医学研究科・放射線医学講座・放射線腫瘍学・腫瘍応用治療学 教授 溝脇 尚志

### Program

開会の挨拶

京都大学・医学研究科・内科学講座・腫瘍薬物治療学 教授 武藤 学

【第Ⅰ部】特別講演 14:10～

【司会】滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 教授 醍醐 弥太郎

患者からみたがん遺伝子パネル検査と癌治療

特定非営利活動法人パンキャンジャパン 理事長 眞島 喜幸

【司会】三重大学医学部附属病院がんセンター

センター長（腫瘍内科 准教授）水野 聡朗

市民・患者からみた遺伝性腫瘍と社会

一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会

特定非営利活動法人クラヴィスアルクス 理事長 太宰 牧子

休 憩

【第Ⅱ部】パネルディスカッション 15:15～

テーマ「がん遺伝子パネル検査、遺伝性腫瘍を考える」

【司会】京都大学・医学研究科・内科学講座・腫瘍薬物治療学 教授 武藤 学

三重大学医学部附属病院ゲノム医療部 教授 奥川 喜永

【パネリスト】

特定非営利活動法人パンキャンジャパン 理事長 眞島 喜幸

一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会 特定非営利活動法人クラヴィスアルクス 理事長 太宰 牧子

三重大学医学部附属病院腫瘍学専攻実践看護学領域がん看護学分野 准教授 坂口 美和

滋賀医科大学・医学部附属病院 副部長 准教授 森田 真也

大阪医科大学・化学療法センター長 特別教授 後藤 昌弘

京都大学がんプロ副会長 医学研究科 人間科学部 医学専攻 修士課程2年 篠原 有紀

京都薬科大学がんプロ副会長 医学研究科 薬学専攻 博士課程4年 友金 真光

開会の挨拶

京都大学・医学研究科・放射線医学講座・放射線腫瘍学・腫瘍応用治療学 教授 溝脇 尚志

参加機関：京都大学、三重大学、滋賀医科大学、大阪医科薬科大学、京都薬科大学

問い合わせ先 京都大学がんプロ事務局

Tel: 075-753-4654 HP: <http://ganpro.med.kyoto-u.ac.jp/> 住所: 〒606-8501 京都市左京区西田近頃町

E-mail: [060ganpro@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:060ganpro@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

「がんプロ合同シンポジウム」は、京都大学がんプロ拠点（京都大学、三重大学、滋賀医科大学、大阪医科薬科大学、京都薬科大学）の目的である「高度がん医療を先導するがん医療人養成を達成するため、がん患者様やご家族様の視点からの声を伺い、包括的なケアに向けてのがん医療教育を考えていくためのもので、医療従事者だけでなく広くご参加を募って開催しました。

今年度は、『患者・市民とがんプロの交流』をテーマに、第Ⅰ部「特別講演」と第Ⅱ部「パネルディスカッション」を行いました。



【総合司会】  
京都大学  
コーディネーター  
溝脇 尚志



【開会の挨拶】  
事業推進責任者  
武藤 学

### 第Ⅰ部 特別講演

（司会1）滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座

教授 醍醐 弥太郎

講演者1：特定非営利活動法人 パンキャンジャパン

理事長 眞島 喜幸

演 題：『患者からみたがん遺伝子パネル検査と癌治療』



【特別講演1】  
眞島 喜幸



【司会1】  
醍醐 弥太郎

（司会2）三重大学医学部附属病院がんセンター

センター長（腫瘍内科 准教授）水野 聡朗

講演者2：一般社団法人 ゲノム医療当事者団体連合会

特定非営利活動法人 クラヴィスアルクス

理事長 太宰 牧子

演 題：『市民・患者からみた遺伝性腫瘍と社会』



【特別講演2】  
太宰 牧子



【司会2】  
水野 聡朗

## 第Ⅱ部パネルディスカッション

### テーマ『がん遺伝子パネル検査、遺伝性腫瘍を考える』

第Ⅱ部では、まず各大学の取組みについて紹介があり、それに対し活発な意見が出されました。その後、司会から医療従事者としてだけでなく、患者様、ご家族という様々な立場を想定した問題提起があり、第Ⅰ部の講演を踏まえて様々な問題点や悩みを検討し、議論がありました。たいへん充実した議論で、予定時間を大幅に過ぎても多くのお聴衆の方が残って耳を傾けてくださいました。

司会：京都大学 医学研究科 内科学講座 腫瘍薬物治療学  
教授 武藤 学

司会：三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部  
教授 奥川 喜永



【司会】  
武藤 学



【司会】  
奥川 喜永

パネリスト1 特定非営利活動法人 パンキャンジャパン  
理事長 眞島 喜幸



【パネリスト1】  
眞島 喜幸



【パネリスト2】  
太宰 牧子

パネリスト2 一般社団法人 ゲノム医療当事者団体連合会  
特定非営利活動法人 クラヴィスアルクス 理事長 太宰 牧子

パネリスト3 三重大学医学系研究科看護学専攻 実践看護学領域 がん看護学分野  
准教授 坂口 美和



【パネリスト3】  
坂口 美和



【パネリスト4】  
森田 信也



【パネリスト5】  
後藤 昌弘

パネリスト4 滋賀医科大学 医学部附属病院・薬剤部  
准教授 森田 真也

パネリスト5 大阪医科薬科大学 化学療法センター長  
特務教授 後藤 昌弘

パネリスト6 京都大学がんプロ履修生 医学研究科 人間科学健康科学専攻  
修士課程2年 篠原 有紀



【パネリスト6】  
篠原 有紀



【パネリスト7】  
友金 眞光

パネリスト7 京都薬科大学がんプロ履修生 薬学研究科・薬学専攻  
博士課程4年 友金 眞光